

2024年8月17日(土)

真夏の朗読会

こわ〜い怪談と不思議なファンタジーのお話

開催報告

夏恒例の朗読会を開催しました。昨年に引き続き、真夏にぴったりのちょっぴり怖い怪談話と、不思議なファンタジーのお話をご用意しました。朗読していただいたのは、視覚障害者を中心としたトークパフォーマンス集団「こうばこの会」の皆さんです。

プログラム

1. おばけのてんぷら(絵本)
2. 逃げた友達 (『学校の怪談1』より)
3. 幽霊屋敷 (『日本のおばけ話』より)
4. 効果的面 (『奥羽怪談 鬼多国ノ怪』より)
5. ショキンショキンと音がして
(『墓場レストラン 怪談レストラン9』より)
6. いらっしゃい (『図書室の怪談3』より)
～休憩～
7. にゅうどうぐも(絵本)
8. お菓子の大舞踏会
(『たんときれいに召し上がれ』より)
9. だから手をつないで
(『あなたのとなりにある不思議 びくびく編』より)



前半は、絵本『おばけのてんぷら』からスタートしました。知っているお話でも朗読で聴くと一味違うお話に！部屋が明るい状態で大型絵本をみんなで見ながら読み聞かせを楽しみました。かわいいお話が終わると部屋が暗くなり、「チリーン、チリーン」と鈴の音が……。会場が一気に怖い雰囲気につつまれ、手元のスタンドライトの明かりが灯り、『逃げた友達』とタイトルが読み上げられると怖いお話の始まりです。

声だけで情景が浮かび、皆さんが息をひそめて聞いているので、ページをめくる音だけが会場内に響いていたのが印象的でした。



休憩時間中に部屋の模様替えを行い、後半はファンタジーのお話です。明るい部屋で、絵本『にゅうどうぐも』から始まります。続く『お菓子の大舞踏会』では、お菓子たちの声が部屋のあちこちから聞こえる演出に迫力があり、子どもたちも最後まで飽きることなくお話に聞き入っていました。

アンケートでは、臨場感のある朗読に「絵などがなくても景色が浮かんた」「朗読の声が皆さんとてもすばらしかった」と嬉しい感想をいただきました。



こうばこの会の皆さん、熱演ありがとうございました。